



平成 28 年 3 月 29 日
国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所

清水港で港湾施設の役割を実感！

「春休み みなと見学会」を行いました

清水港湾事務所では平成 28 年 3 月 25 日、市民を対象とした「春休み みなと見学会」を開催しました。

見学会には 140 名が参加があり、清水港の施設の説明や見学を通して港の役割について理解を深めました。

1. 内容

現在の清水港は、日本の経済にとって重要な国際拠点港湾として位置づけられ、その中で最も面積が小さい港でありながら活気に富み、コンテナターミナルやエネルギー関連施設、チップ、穀物などのバラ貨物を扱う施設など様々な役割を持った施設が配置されています。

また、美しい景観を有した日本三大美港の1つであり、近年は、大型客船の寄港も増加していて賑わいも有した港です。

海上から「地域を支える物流拠点機能」、「富士山と港が調和した美しい景観」などの様子を見学した参加者の方は、皆興奮した様子で、約1時間の港内見学を楽しんでいました。



<海上見学の様子>

2. 当日のスケジュール

日時：平成28年3月25日(金)

場所：マリンパーク及びベイプロムナードの船上など港内

8：30～ 9：10	受付(船着き場)
8：45～	乗船開始(ベイプロムナード)
9：15～ 9：30	開会挨拶・説明
9：30～10：30	清水港海上見学(船上)【60分】
10：30～10：40	下船
10：40～11：00	閉会挨拶・記念写真撮影(船着き場)

3. 見学の様子



＜受付の様子＞



＜屋上からコンテナ荷役状況見学＞



＜屋上から地球深部探査船 ちきゅうを見学＞



＜清水港視察後 記念写真撮影の様子＞

4. 参加者の感想

- 灯台の近くに行くと波があったのが、防波堤に近づくと揺れがとまり、必要性がよくわかった
- はじめて海上から清水港を見学しました。コンテナターミナルの大きさに驚いた。
- ちきゅうが近くで見れてよかった。
- 普段みることがない景色がみれて良かった。
- 景色と色の調和がとてもいいと思った。

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ
静岡市政記者室、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

6. 問合せ先

国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課長 堀池
TEL：054-352-4148 FAX：054-353-3072
E-mail：shimizu-kikaku@pa.cbr.mlit.go.jp